



Kumamoto  
for SDGs

---

# 熊本SDGs 推進フォーラム2020

---

日時

2020年2月8日(土)

13:30～16:30 (13:00受付開始)

場所

肥後銀行本店ビル 大会議室

〒860-8615 熊本県熊本市中央区練兵町1

主催：熊本市 共催：(公財)地方経済総合研究所、肥後銀行、三井住友海上火災保険(株)〔五十音順〕

後援：国連人間居住計画(ハビタット)福岡本部(アジア太平洋担当)、内閣府地方創生推進室、九州経済産業局、熊本県、熊本県教育委員会、小国町、熊本市教育委員会、(一社)熊本青年会議所、熊本県商工会議所連合会、熊本県商工会連合会、熊本日日新聞社、NHK熊本放送局、熊本放送、テレビ熊本、熊本県民テレビ、熊本朝日放送〔順不同〕

# 熊本SDGs 推進フォーラム2020

2030年までに「SDGs(エスディーゼズ):持続可能な開発目標」を達成するために、さまざまな取り組みが世界的に実施されつつあります。本フォーラムでは、基調講演、パネルディスカッションを通して、市民、行政、企業がSDGsを理解し、SDGs目標達成のために、何に取り組むべきかを共に考えることを目的としています。

## 【プログラム】

### 第1部(13:30~14:40)



基調講演Ⅰ

### 「地方創生に向けたSDGs推進について」

講師/遠藤 健太郎 氏



基調講演Ⅱ

### 「熊本地震の経験と教訓をいかした 地域(防災)力の向上事業」

講師/大西 一史 氏



基調講演Ⅲ

### 「みちのく震録伝~SDGsから見た 災害アーカイブと伝承の重要性~」

講師/ゲルスタ・ユリア 氏

— 10分休憩 —

### 第2部(14:50~16:30)



パネルディスカッション

### 「SDGsが生み出す新たなパートナーシップ」

ファシリテーター/今津 秀紀 氏

登壇者/高橋 知宏 氏、原口 真 氏、柘田 一郎 氏

## 講師



**遠藤 健太郎 氏**

内閣府 地方創生推進事務局 参事官

1990年通産省(現経産省)入省。1995年ハーバード大ケネディ行政大学院修了。経産省製造産業局製鉄企画室長、同省関東経済産業局資源エネルギー環境部長、復興庁参事官等を経て、2017年から現職。



**大西 一史 氏**

熊本市長



**ゲルスタ・ユリア 氏**

東北大学 災害科学国際研究所 助教

ドイツ生まれ、ベルリン自由大学で日本学と文化人類学を修士。2011年の留学時に東京で東日本大震災を経験後、災害と復興に関心を持ち、大学院生時に「東北からの声」というボランティアプロジェクト(上智大学)に参加。ほぼ毎週末、被災者とのインタビューを東北被災地で撮影した経験を持つ。2019年、博士号を取得後、東北大学 災害科学国際研究所・災害アーカイブに入所。

## ファシリテーター



**今津 秀紀 氏**

凸版印刷(株) コーポレートコミュニケーション部 部長

サステナビリティを軸にSDGs、企業ブランドなどのコーポレートコミュニケーションを専門にする。企業情報サイトランキング1位、エコサイトランキング1位、CSR報告書アワード最優秀賞など担当したクライアントで実績を上げる。学会「企業と社会フォーラム」プログラム委員。

## 登壇者



**高橋 知宏 氏**

横浜市 温暖化対策統括本部 企画調整部 SDGs未来都市推進課長



**原口 真 氏**

MS&ADインターリスク総研(株) リスクマネジメント第三部 サステナビリティグループ 主席コンサルタント  
産学官公民金連携・特命共創プロジェクト デューサー



**柘田 一郎 氏**

熊本市環境局 環境推進部 環境政策課長

**SDGs(持続可能な開発目標)**とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現する、そして地球上の誰一人として取り残さないことなどを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものであり、日本でも積極的に取り組んでいます。17のゴール〔目標〕、169のターゲット〔達成基準〕が設定されています。



